

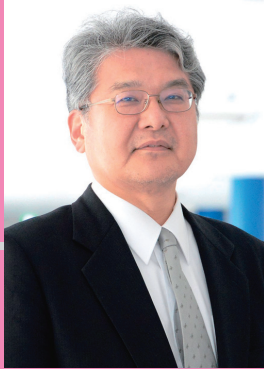


徳島大学

# 歯学部たより

Tokushima University Faculty of Dentistry

第 3 号 2017.4.1



## ようこそ 徳島大学 歯学部へ

歯学部長

河野 文昭

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。徳島大学歯学部は、1976年に四国で唯一の歯学部として設置されました。以来、人間性豊かな歯科医師、歯科衛生士を養成するとともに、先端的な歯科医学の研究・開発を行い、中国・四国地区の歯科医学、口腔保健学の拠点としての役割を果たして参りました。

歯学部には、6年制の歯学科と2007年に新設された4年制の口腔保健学科があり、超高齢社会に対応できる歯科医療、福祉の高度専門職を養成しています。特に口腔保健学科では、口腔機能の視点から医療と福祉の両面からマネジメントできる人材養成をめざして

おり、卒業時に歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家試験の受験資格が得られるカリキュラムを提供しています。

歯学科では①患者中心の全人的医療を理解し、歯科医師に求められる世界水準の知識と技能を有する、②地域社会のニーズに対応できる能力を備え、③幅広い教養と高い倫理観を持ち、そして④患者及び他の医療者と適切な人間関係を確立する能力を有する、歯科医師を育てることを目的としています。一方、口腔保健学科では①口腔保健・福祉の専門的知識と技能を有し、②チーム医療や保健福祉活動の一員としての役割を果たす能力を備え、③慈しみと思いやりの心を持って患者さんやその家族、スタッフと接することのできる、医療と福祉従事者の養成を目的としています。

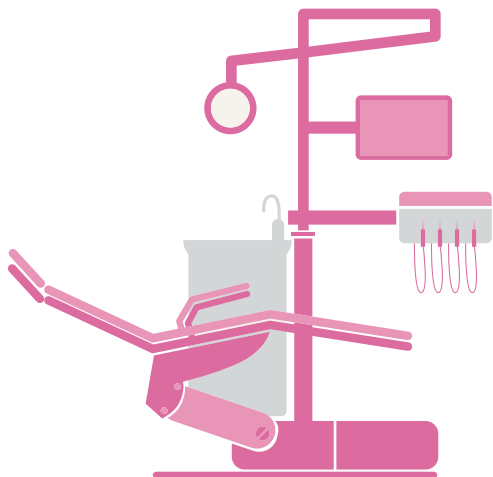
歯科医学教育では、「歯を削る」、「歯石を除去する」などの技能教育の割合が高く、その技術の基盤となるのが生物学的知識や材料学的知識です。そのため、1年次には学びの基礎となる教養科目を学び、基礎・臨床歯学を理解するための基盤を形成します。その後、専門的な歯科医療の知識・技能・態度の修得が始まります。患者さんに安心・安全の歯科医療を提供するためには、当然、医学的知識も必要となり、実際に患者さんの診療を行う診療参加型臨床実習と並行して、この隣接医学を学びます。

また、徳島大学歯学部では世界で活躍できる人材育成も目的にあげており、学部学生の短期海外留学を積極的に支援しています。さらに外国から短期留学生を受け入れ、広い視野を持つ人材を育てています。

私たち教員は、皆さんが歯科医学を学ぶお手伝いをします。主体は皆さんです。6年後、4年後に皆さんが地域に貢献し、そして世界で活躍できる歯科医師、歯科衛生士として歯学部を巣立つことを楽しみにしております。

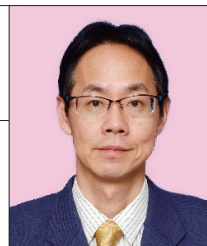
## CONTENTS

- 1 学部長挨拶
- 2 歯学部での学び
- 3 病院の紹介
- 4 研究の動向
- 5 キャンパスライフ
- 6 国際交流
- 7 各種紹介
- 8 掲示板



# 歯学部での学び

前歯学部教務委員長／顎機能咬合再建学分野 教授 **松香 芳三**



新入生、同窓会員、後援会の皆様におかれましてはご活躍のこととお慶び申し上げます。新入生の皆さんは今後の歯学部の生活に期待を膨らませていることだと思います。今回は徳島大学歯学部で行われている教育の動向を報告致します。

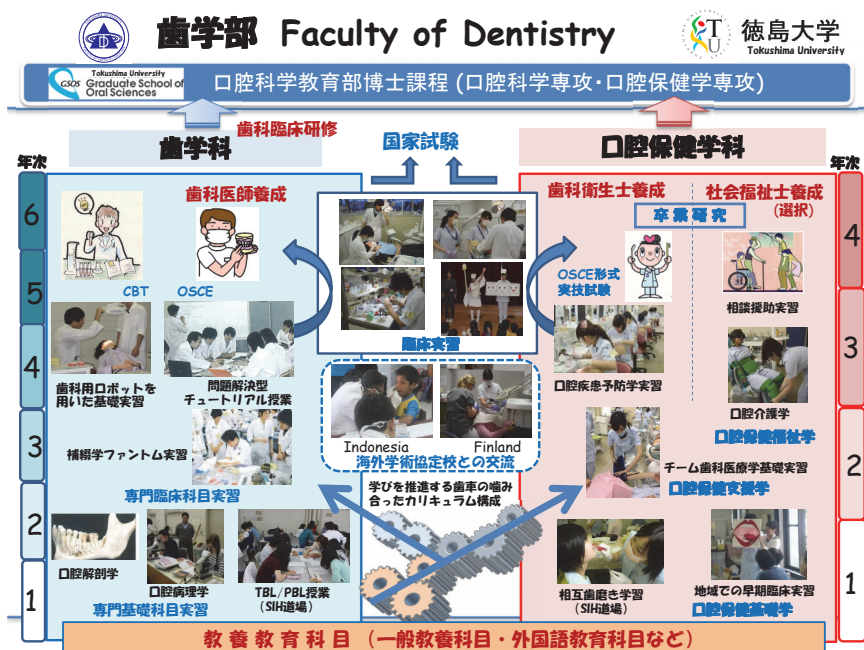
ハリウッドや日本映画で登場する大学講義の典型的なものは教授が板書をしながら自分の好きなことを話し、教室への出入りは自由で、私語をしたり、寝たりしている学生もいるというものです。私の学生時代にはそれに似た雰囲気味わうことができる講義があり、学生は一生懸命に勉強しなくても卒業後は何とか社会生活を営むことができた良き時代でした。時代が変わったのだと思いますが、最近の学生は真面目に講義を受けることが求められているようです。また、大学教員は教育にも力を入れることが求められ、卒業生の質が問われるようになりました。そのため、効果的に学生が学習できるように、能動的学習であるアクティブ・ラーニング（課題演習、質疑応答、振り返り、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを取り入れた学生の能動的な学習）が広く取り入れられています。徳島大学ではアクティブ・ラーニングが特に盛んです。例えば、新入生の皆さんは入学直後の「SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～」を受講します。これは、文部科学省の「大学教育再生加速プログラム」に採択された取り組みで「Strike while the Iron is Hot（鉄は熱いうちに打て）」として、初年次学生の能動学習と教員の新たな教育手法を推進するものです。歯学部では、SIH 道場において、読書レポートや問題解決型授業（TBL/PBL 授業）に加えて、相互歯磨き学習などの良好なコミュニケーションの習得を目的とした体験学習を実施しています。

図に歯学部の卒業までのカリキュラムを示します。歯学

科は左側に記載されています。1 年次は主に教養教育を学びます。2 年次後期より専門科目が開始され、卒業まで学習します。その後 5 年次前期に全国統一の歯学共用試験（コンピューター試験：CBT および客観的臨床能力試験：OSCE）を受験します。これらの関門をクリアすると、5 年次後期から実際に患者さんの診療を行う臨床実習がスタートします。臨床実習は大学病院だけでなく、学外の高齢者施設などでの実習も含まれます。最終的に、歯科医師国家試験に合格してライセンスを取得することになります。その後は大学院に進学することによりキャリアアップすることになります。

口腔保健学科では、図の右側に示すように、早期に教養教育や専門教育科目での体験学習を通じて人間力や社会性を身につけ、問題解決型授業や客観的臨床能力試験などを組み込んだ授業を通じて口腔保健・福祉に関する知識や技能を習得します。更に、臨床・臨地実習により、態度教育を含めた歯科衛生士専門教育の習熟を図り、卒業研究で専門性と総合性を統合させます。また、選択科目の履修により社会福祉士国家試験受験資格を得ることができる科目編成としています。

学生の皆さんは、探求心をもって貪欲に学問に挑んでいただきたいと強く希望しております。歯科医療などに関する膨大な情報量に対し、わずか 6 年間または 4 年間で学習する内容は核となる僅かな知識と、どのように有用な情報を選択し、知識・技能を習得するかという「学び」です。自ら努力する能動的学習なくして社会から求められる歯科医師や歯科衛生士／社会福祉士にはなれません。皆さんのこれからの活躍を期待しています。



## 病院の紹介

徳島大学病院 副病院長(歯科担当) / 歯科麻酔科学分野 教授 **北畑 洋**



東病棟、中央診療棟、西病棟に続いて一昨年、新外来診療棟が完成し、歯科外来が歯科棟から新外来診療棟4階へ完全に移転しました。4階ワンフロアに歯科が集約され、J・K・L・M各ブロックに全科が配置されています。現在も旧医科外来棟の取り壊し工事が行われていますが、20年以上進められてきた病院再開発計画も大きな区切りを迎

え、徳島大学病院として医科歯科統合が実質的に完了したと言えます。今後も、周術期口腔ケアを含めた医科歯科連携のさらなる推進と高度先進医療の提供、社会貢献が期待されます。

### 臨床実習 (歯学科)

歯学科の臨床実習は、5年次後期から6年次前期までの1年間、主に診療室において指導歯科医の下で担当患者の診察を行います。そのため臨床実習を受けるにあたり、実習を行う上で必要な知識・技能・態度を習得したものととして、Student Dentistの認定を受ける必要があります。臨床実習では医療現場における基本技能および思考法は勿論のこと、医療人としてのプロフェッショナルリズムを意識した姿勢を学んでいきます。



### 臨床・臨地実習 (口腔保健学科)

臨床実習は大学病院外来棟4階の歯科部門フロアで行いますが、手術室や口腔外科病棟での見学、歯科衛生士の病棟口腔ケア、言語聴覚士の摂食嚥下訓練などにも随行しています。臨地実習では、保健所、保健センター、幼稚園、小中学校、障害者施設、病院など、多様な地域歯科保健活動の現場体験を積めるように構成しています。実習では知識・技術の習得のみならず、自分の適性を見出す場、将来を考える場として役立つことも期待しています。



### スキルスラボ

徳島大学歯学部では人体模型のシミュレーション教育が実践できるスキルスラボ(臨床技能学習施設)として、臨床実習生および研修医、さらには専門性の高い高度な医療技術の習得を目指す歯科医師が日夜訓練できるようにデンタルシミュレーター6台とシムロイド1台を設置しています。シムロイドは見た目や動き、反応まで人そっくりで、治療技術の向上だけではなく、患者様とのコミュニケーション技術の向上にも一役買っています。



### Student Dentist 認定証授与式

分子薬理学分野 教授 **吉本 勝彦**



平成28年9月30日にStudent Dentist認定証授与式を挙行政し、歯学科5年次学生ひとり一人に河野学部長から認定証と臨床実習で着用する白衣が授与されました。平成24年から、歯科医師を目指す者としての責任感や使命感を再認識させることを目的に、「臨床実習を開始する前に備えておくべき知識・技能・態度」を身につけていることを証明する「Student Dentist」の称号付与を行っています。

## 研究の動向

歯学部 副学部長／口腔分子病態学分野 教授 **石丸 直澄**

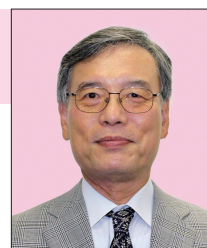


歯学部の大学院改革における「学位は原則英語論文」がほぼ実質化していることによって、英語研究論文数は年々増加しています。また、今年度の若手研究者学長表彰(口腔組織学分野・寺町順平助教)、先端歯学スクールでの最優秀賞受賞(小児歯科学分野・杉本明日菜さん)など若手研究者が活躍しています。一方、本学部の科学研究費補助金の獲得状況として、細目別の新規採択数順位では、病態科学系歯学・歯科放射線学が4位、歯周治療系歯学が5位などとなっています。今年度の外部評価委員の一人の意見として「身の丈にあった研究を目指すべき」との指摘を受けました。地道にコツコツと研究を進めることこそ発展への近道であると信じています。

## 研究紹介

### 疾患特異的 iPS 細胞の樹立による稀少難病研究と新規治療法開発

分子医化学分野 教授 **野間 隆文**



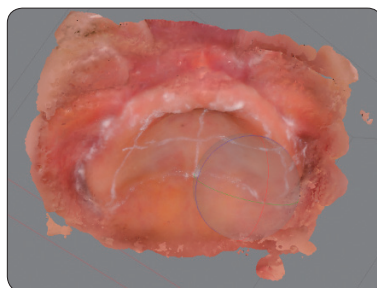
私たちは平成19年にヒト口腔粘膜細胞から世界で初めてiPS細胞を樹立し、徳島大学内では先駆的に、幹細胞技術の獲得と向上を進めてきました。その基盤の上に立って、現在、疾患特異的iPS細胞の樹立による稀少難病研究と新規治療法の開発研究を行っています。平成25年度からの3年間には、徳島大学での幹細胞研究の普及や人材の育成をめざし、医学部臨床系分野等全学的な連携による「徳島大学における再生医学研究プラットフォームの構築と臨床応用」という研究テーマで徳島大学の革新的研究に採択されています。超高齢化社会を迎えた今日、iPS細胞を用い、ヒトの臓器の再生、難病研究、創薬などといった幅広い医療への実用化の期待に応えるべく、日々研鑽を積んでいます。

### デジタルプロソドンティクス Digital prosthodontics

口腔顎顔面補綴学分野 教授 **市川 哲雄**



装着している下顎の義歯をデジタル印象したときの画像



上顎の無歯顎をデジタル印象した画像

歯科補綴学は、歯、口腔、顎顔面の欠損や機能障害を回復、維持する臨床領域です。そのために、多くの装置を製作します。歯や口の型どり(印象採得)から始まって、その後、型どりしたものに石膏を流し、その上でワックスで形を作り、それを金属やプラスチックに置き換えていく操作が続きます。この過程をデジタル技術を使って行う治療方法が一部では実用化されています。我々は、学生の皆さんが一人前の歯科医師になったと

ときには、この印象採得を含めた義歯製作過程の多くがデジタル化されるように研究を進めております。

### 地域包括ケアシステムの構築支援と有用性の実証化

地域医療福祉学分野 教授 **白山 靖彦**



人は、この世に生まれ、死ぬまで人とかわかり、社会の中で幸せに生きようとします。すなわち、それを「福祉」といいます。当分野では福祉を研究対象としながらも、最近では、高齢化・人口減少の節目である2025・2040年問題に主眼を置き、医科歯科、介護、行政などが連携して問題解決を図る「地域包括ケアシステム」の構築と、その有用性の実証化に着手しています。このシステムでは、だれもが高齢になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができることを目的としています。そのためには、各地域での成功事例を共有することが重要であり、本年3月、徳島県地域包括ケアシステム学会(Toccs: <http://www.toccs.jp/>)を立ち上げ、県内の情報を収集しているところです。

## キャンパスライフ

徳島大学歯学部歯学科 3年 桃原 光平

「数学では食えないから」

歯学部再受験の理由を問われた際、お決まりの空威張り。その実、大失恋のショックから講義を休みがちになり、明らかに恋愛経験に乏しそうな数学科教授陣からも慰められる始末。数学者なんぞ夢のまた夢、名古屋を命からがら逃げ出した私を拾ってくれたのは他にもないこの徳島大学歯学部でした。そして3年が経ち、あの素っ頓狂な方向転換も今では一つの正解であったと確言出来るのです。教室での何気ない会話の一片片が、下手なバラエティ番組を観るよりも遥かに楽しく、そのような友人に恵まれたことに日々喜びを感じております。自然光の届かぬ薄暗い校舎、数日後には噂が2周する‘井戸端’社会…何かと癖の強い学校生活を強いられませんが、少なくとも私にとって青春時代の終の棲家には申し分の無い環境です。そして昨日は解剖学者、今日は歯周病専門医と、将来像を思い描けばあらゆる世界に浮気の毎日ですが、それほど魅力的な講義の数々が此処には詰まっています。何処ぞのマンモス大学を凝縮させたかのような人間模様は然ながら人種のるつぼ。足踏みが揃わぬことは多々あれど、幾多の苦境を皆で乗り越え着実に成熟度を増すこのクラスと共に、良き歯科医師・歯科医学研究者を目指して今後も勇往邁進してゆきたいものです。

最後に余談ではございますが、私の恋愛は多剤耐性菌の如く、経験を積む毎に厄介になりつつあるようです。しかし先の幸せを追うより明日の試験に追われる中、現在のところ無遅刻・無欠席を励行中であります。



歯学部口腔保健学科 2年 吉田 佳世

口腔保健学科は講義でアクティブラーニングという最新の授業形式を取り入れ、グループディスカッションや歯科衛生士に必要な技術を身につけるための基礎実習を行い、座学に限らない講義形態をとることで歯科衛生過程も社会福祉過程も楽しんで取り組むことができます。医歯薬学部の学生と共同で行う講義や実習も多く設けられており、他学部との交流を深めるだけでなく、現在の医療で必要とされているチーム医療についても早期から学ぶことができます。また歯科衛生課程では口腔だけでなく全身の健康もサポートできるよう幅広い知識を得ることができます。そして知識や技術を得ながら、命の重さや医療人としての倫理観を習得し、医療従事者としての心構えを身につけます。3年後期では学んだ知識を生かし、隣接する大学病院で実際の医療現場で経験を積むことができるので、今から楽しみです。

社会福祉士養成課程では学内演習のなかで様々な福祉事例をグループワークにて協議し、その後の学外実習では病院や施設に赴き、社会福祉士の業務を実際に体験します。この実習は福祉専門職として自分に何が出来るのかを考えさせられるよい機会になると思います。2年生後期では学部間交流協定を締結しているフィンランドのメトロポリア応用科学大学から交換留学生を迎え、両国の医療・福祉システムについて協議しました。

口腔保健学科は2つの資格をとるため忙しい4年間になりますが、教員と学生との距離が近いので、大変な勉強もサポートして下さります。また口腔保健学科は定員が15人の少人数制です。先輩方と仲が良いだけでなく、クラス会として年に何度かクラスで出かけたり食事をしたりなど、クラスの仲が良いのも定員が15人の少人数制ならではのメリットです。本学科で充実した学生生活を送りませんか。



## 国際交流

### インドネシア・ムハマディア大学短期留学

歯学部歯学科 5年 中川 聖子・井上 岳・田中 敏顕 歯学科 3年 池田 雄紀・照屋 大貴

我々、徳島大学歯学部学生 5 人は、3/5 ~ 3/18 の二週間、インドネシアのムハマディア大学の exchange program に参加しました。

3/5 の夜にインドネシアのジャカルタに到着すると、空港では SEPstudents が我々を温かく出迎えてくれました。

二日目からは、大学のキャンパスや病院の見学に行き、学部長や先生方に挨拶をしました。UMY の学生たちのディスカッションに参加したり、幼稚園や市民病院に見学に行き、インドネシアと日本の様々な違いを知り学ぶことができました。また歯科治療のひとつとして針治療や、催眠の授業を受けたことはとても新鮮でした。

インドネシアの気候は非常に暑くまた交通量も多く信号機もほとんどないため道路を横断するのも UMY の学生達がいないとできませんでした。彼らは快くどこにいくにも着いてきてくれて、また我々の英語を現地の人達にインドネシア語で通訳してくれ、助かりました。

インドネシアのボロブドゥール寺院を観光したり、伝統的な踊りを観賞したり、また宮殿でもガムランの美しい響きや伝統衣装の美しさを堪能しました。

UMY の先生方や学生達は非常に親切で、我々が多いに楽しみ、学びました。この exchange program に参加できて本当に良かったと思っています。この program を運営してくださっている先生方に感謝いたします。インドネシアでは非常に手厚く歓迎していただいている、徳島大学でも UMY の学生達に我々を始めとし大学一丸となって恩返ししたいと思います。



### フィンランドに留学して学んだこと

歯学部口腔保健学科 4年 臼杵 咲希・久嶋 麻友子・谷原 潤子・西山 花生

私たちは平成 27 年 8 月 18 日から 25 日までの 8 日間、本学部と学術交流協定を締結しているフィンランドのヘルシンキメトロポリア応用科学大学に交換留学生として短期留学させて頂きました。

まず私たちが衝撃を覚えたことは、同大学の臨床実習の学生が「予約」、「医療面接」、「処置」、「器具の管理」など、クリニックのすべての運営に携わっていることでした。また歯科治療に積極的でない患者に対しては学生が直接連絡を取って受診を促すなど、日本の臨床実習では見ることでできない優れた点をいくつも発見できました。

また基礎実習では実際にファントムを用いた実習に参加してその雰囲気を感じることができました。実習指導はフィンランド語で進められていたため、詳細を理解することはできませんでしたが、同校の学生が英語に翻訳してくれたことで学生同士の交流も生まれ、有意義な基礎実習となりました。

さらに私たちは現地の学生に対して徳島大学や口腔保健学科のカリキュラム、そして日本の文化、特にお正月や七夕など日本の主な伝統行事や食べ物を紹介し、発表後にはおせんべいと抹茶味のチョコレートを試食して頂きました。現地の学生も日本について大変興味があるようで、発表後には多くの質問が寄せられました。

最終日には「この留学で学んだこと」をテーマにそれぞれが相手校の担当教員 (Tuula Toivanen-Labiad) に発表し、フィードバックを頂きました。特に日本の歯科医療現場では経験できないフィンランドの“当たり前”を取り上げ、その“当たり前”について議論したことはこの留学の大きな成果の一つとなりました。

フィンランドは口腔の健康増進プログラムを有する社会福祉の先進国であります。この貴重な留学の経験を将来の歯科医療活動に生かせることを考えながらこれからの臨床実習に臨みたいと考えています。



## 各種紹介

### 新任の挨拶

組織再生制御学分野 教授 **山本 朗仁**

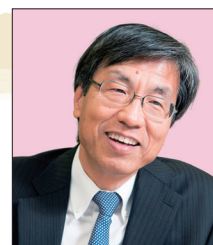


平成 28 年 11 月 1 日付で羽地達次教授の後任として着任いたしました。これまで神戸理化学研究所や名古屋大学医学部で再生医学の研究に従事してきました。今回、歯学部教育に携わる機会をいただき、新たな気持ちで成書に向き合っております。担当範囲は「全身及び口腔組織学」、「歯の形態学」の授業・実習と膨大ですが、それだけ若い学生と接する機会も多く刺激を受けています。「歯の形態学」では歯型彫刻で多くの学生が悪戦苦闘しています（ちなみに、私は学生時代、歯型彫刻が得意でした）。時間内に終わらな

い多くの学生のために研究室の一部を解放しています。自らの力で課題を克服しようと挑戦する若いエネルギーに驚かされます。彼らとのコミュニケーションを通して、形態学を伝えていくことの大切さを痛感しています。組織学の実習でも学生のモチベーションを高められるように指導していきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

### 退任の挨拶

副学長／歯周歯内治療学分野 教授 **永田 俊彦**



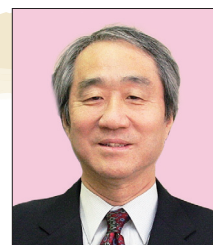
私は昭和 53 年に九州大学歯学部を卒業後、40 年近く徳島大学に奉職しました。教員生活を振り返って、総じて「いい仕事」ができたと感じています。教育面では、学生講義、ファントム実習、臨床実習、大学院生の指導など、現場で生き生きと人材育成に励むことができたこと、研究面では、海外留学（トロント大学）で培った基礎実験技術を生かして骨や歯髄の細胞生物学的分析を行い、さらにその成果を

臨床研究へと発展させ、歯周病の新しい診断法や治療法の開発に貢献できたことに大変満足しております。

歯学部が創設された 40 年前と比較すると、社会も大学も厳しい時代になりましたが、個性を生かした徳島大学歯学部および大学院の今後の奮闘を大いに期待しております。

### 退任の挨拶

口腔微生物学分野 教授 **三宅 洋一郎**



1994 年 6 月 1 日に赴任して以来 22 年 10 か月にわたり、教職員の皆様及び学生諸君には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。この 23 年間、あっという間でしたが、退職前に書類を処分しながら「こんなことがあったな」「あんな人に出会ったな」と、実は長かったと実感いたしました。赴任当時は「20 年もあれば何かできるだろう」と高を括っていましたが、今にして思えば

甘い考えでした。「中年更に老い易く、学成り難し」ですね。地縁も血縁もない徳島でしたが、徳島に来たからこそできたこと、出会えた人、食べられたもの、等々私にとっていい経験、いい思い出になっています。有難うございました。

#### 歯学科 クラス担当教員

1 年次生	誉田 栄一	教授
	山本 朗仁	教授
2 年次生	馬場 麻人	教授
	宮本 洋二	教授
3 年次生	岩本 勉	教授
	濱田 賢一	教授
4 年次生	河野 文昭	教授
	吉本 勝彦	教授
5 年次生	伊藤 博夫	教授
	松香 芳三	教授
6 年次生	石丸 直澄	教授
	北畑 洋	教授

#### 口腔保健学科 クラス担当教員

1 年次生	白山 靖彦	教授
	藤原 奈津美	助教
2 年次生	日野出 大輔	教授
	土井 登紀子	助教
3 年次生	伊賀 弘起	教授
	渡辺 朱里	助教
4 年次生	尾崎 和美	教授
	竹内 祐子	助教

(アイウエオ順)





# 徳島大学歯学部 教育研究基金寄附者 ご芳名

〈平成28年3月11日～平成29年3月1日〉

医療法人 あべ歯科医院 阿部 敬典	医療法人 むとう歯科 理事長 武藤 愛治
医療法人 糸田川歯科医院 糸田川 徳則	医療法人 安田歯科 安田 勝裕
医療法人 いぬい歯科 乾 光利	医療法人 円石会 やまがみ歯科 理事長 山上 博史
医療法人 太歯会 岡本歯科 理事長 岡本 康生	医療法人 円石会 やまがみ歯科 山上 玲子
医療法人 金亀歯科クリニック 亀岡 真典	医療法人 やまざき歯科医院 山崎 敏雄・有紀子
医療法人 ミント歯科クリニック 北岡 栄一郎	医療法人 山村歯科医院 山村 昌康
医療法人社団 木下歯科医院 理事長 木下 貴雄	医療法人 山本歯科医院 山本 修
医療法人 くに歯科クリニック 國清 憲志	医療法人 恵生会 渡辺 徹
医療法人 ごう歯科医院 齋藤 豪	医療法人 こぐま小児歯科・歯科 渡邊 正和
医療法人 愛弘会 柴田 督弘	あい歯科 井上 勝正
医療法人 すずき歯科 鈴木 温	いしかわ歯科医院 石川 輝明
医療法人 たかせ歯科医院 理事長 高瀬 維彦	千歳烏山歯科医院 烏山 秀行
医療法人 たかせ歯科医院 理事 高瀬 美和	下野歯科医院 下野 純司
医療法人社団 ハロー歯科クリニック 理事長 都倉 達生	ハート歯科クリニック 友宗 法道
医療法人 飛梅会 飛梅歯科医院 理事長 飛梅 悟	永峰歯科医院 永峰 伸一
医療法人 中川歯科医院 理事長 中川 雅文	牧歯科医院 橋本 牧子
医療法人社団 なかつか歯科 中塚 智昭	ゆう歯科クリニック 院長 橋本 芳郎
医療法人 中原歯科医院 理事長 中原 信光	有貴歯科クリニック 林田 有貴子
医療法人 めまたデンタルクリニック 沼田 昌宏	福富歯科医院 福富 茂
医療法人社団 祥皓会 板東 直子	ほていや歯科院長 布袋屋 智朗
医療法人 東山歯科医院 東山 祐陽	みもと歯科医院 院長 味元 議生
医療法人 藤崎矯正歯科クリニック 理事長 藤崎 臣弘	みやまつ歯科クリニック 宮松 伸也
医療法人 秀佑会 理事長 松木 秀樹	美希デンタルクリニック 椋本 美希
医療法人社団 星美会 歯科マナビデンタルクリニック 真鍋 忠雄	つるおか歯科医院 渡邊 晋二
医療法人社団 徳神会 理事長 三木 隆寛	

メディア 株式会社	株式会社 マルミ歯科商店徳島支店	亀水化学工業 株式会社
株式会社 トクヤマデンタル	株式会社 モリタ	山本貴金属地金 株式会社
株式会社 ニッシン	長田電機工業 株式会社	和田精密歯研 株式会社

一般財団法人厚仁会	口腔分子病態学分野	小児歯科学分野
徳島大学歯学部同窓会愛媛県支部	口腔顎顔面補綴学分野	歯科放射線学分野
歯学部後援会	顎機能咬合再建学分野	総合診療歯科学分野
第一補綴同門会	口腔内科学分野	地域医療福祉学分野
顎機能咬合再建学分野同門会	口腔外科学分野	口腔保健支援学分野

青田 桂子	池田 知子	伊藤 克博	岩端 秀幸	鵜飼 伸
秋山 靖夫	石川 正俊	伊藤 博夫	岩本 勉	宇佐美 智史
東 雅之	石川 康子	乾 恵理	植田 栄作	梅津 寛
阿部 洋子	石塚 寛	井上 尚也	植田 英樹	梅原 一章
伊賀 弘起	石橋 勝雄	井上 秀夫	上田 喜雅	裏崎 恵子
池田 隆志	井出 和茂	今井 守夫	魚里 一郎	江口 公人

# 徳島大学歯学部 教育研究基金寄附者 ご芳名 (続き)

(平成28年3月11日～平成29年3月1日)

江口 覚	高智 満	竹間 和重	濱田 賢一	宮本 洋二
大井 啓司	向野 敏也	辻本 仁志	林 良夫	宮脇 綾
大木元 玲子	郡 由紀子	土川 一司	原 淳一郎	三好 圭子
太田 英史	薦田 淳司	筒井 英士	原田 修	宗正 禎
大塚 千亜紀	古森 佳子	出口 博代	張木 宏一	村上 欣也
大塚 利弘	近藤 恒	天真 覚	坂東 永一	村上 伸一
大野屋 さおり	近藤 一雄	土居 晋也	板東 高志	村田 浩之
大場 堂信	近藤 宏治	土井 登紀子	坂東 美和	村田 洋子
大場 伸子	斉藤 隆司	東條 多恵	東山 哲也	村松 伸
大前 健治	佐久間 淑行	時枝 整	日野出 大輔	村山 弥生
大藪 憲治	佐藤 知至	富永 敏彦	日山 孝	森下 裕一
岡田 寿夫	佐藤 亮	中江 弘美	平島 寛司	森廣 宏則
奥野 進	澤田 直則	中川 弘	廣島 佑香	八木 正樹
尾崎 和美	篠永 ゆかり	永田 俊彦	広瀬 正和	安田 久理人
小笹 昌彦	篠原 千尋	中西 正	広野 善文	矢野 公一
笠原 信治	柴田 享	中野 恵子	福井 誠	山内 英嗣
加地 亮詞	渋谷 章	中野 孝三郎	福田 政司	山内 規進
粕谷 幸生	清水 俊也	中野 雅徳	福浜 明宏	山上 毅
片岡 宏介	下島 康司	中原 美佐	藤井 佐都樹	山口 貴功
片岡 礼子	新谷 泰司	中村 亮	藤田 和久	山下 強
加藤 倫	菅 俊行	中村 礼太郎	藤田 大蔵	山下 倫子
金川 裕子	鈴木 敦子	長山 勝	平島 佳典	山田 真義
金子 亜弓	鈴木 勝巳	仲若 三男	辺土名 朝憲	山田 雅明
兼子 賢之	角田 佳折	西井 朗	細井 和雄	山本 敬三
金子 秀兆	高石 和美	西口 義則	堀内 信也	山本 沙緒里
鎌田 岳志	高尾 亮輔	西中 英伸	堀内 政信	山本 哲也
鎌田 容子	高木 知道	西野 瑞穂	本多 宏史	山本 俊明
上岡 寛	高木 豊明	西松 歩	楨 大	湯本 浩通
亀井 稔之	高木 康里	二宮 雅美	増地 裕幸	由良 徹也
河東 泰行	高田 委利	乃一 佳宏	枘富 健二	横尾 加名子
河野 文昭	高田 寿	野杵 由一郎	枘富 由佳子	横田 則人
川原 博雄	瀧 雅行	野沢 孝行	松尾 敬志	吉岡 昌美
川又 均	竹内 久裕	能勢 大樹	松木 宏真	吉田 秀夫
川本 苗子	武川 恵美	野田 正純	松本 貴志	吉村 博
岸本 尚文	武川 大輔	野間 隆文	松山 美和	吉本 勝彦
北畑 洋	武知 正晃	萩崎 康雄	萬好 都美恵	吉本 昇平
北村 清一郎	田島 敏成	橋川 恵一	萬好 哲也	米田 和典
木戸 淳一	多田 恒	橋本 万里	満岡 智代子	米田 雅信
木下 俊一	多田 淳	羽田 勝	南本 茂樹	六車 豊
金城 清一郎	多田 望・弘子	花崎 広子	美濃部 茂	渡部 眞奈美
倉橋 謙二	田中 栄二	羽地 達次	宮上 憲司	
栗林 伸行	谷 慶明	馬場 麻人	三宅 洋一郎	
桑原 三千代	玉木 直文	濱 昌代	宮本 裕司	(敬称略)